令和８年度小学校　国語

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

◇「言葉の特徴や使い方に関する事項」に係る出題において、話や文章の種類とその特徴について理解することについて、よくできている。
◇「話すこと・聞くこと」に係る出題において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することについて、よくできている。
◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」に係る出題において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことついて課題がある。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

〇話や文章の種類とその特徴について理解することについて、よくできている一方で、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことついて課題がある。比喩や反復などの表現の工夫に気付くことについても全国平均正答率を下回っており、課題である。文や文章の中で既習の漢字や表現の工夫を意識しながら読んだり、書いたりする授業づくりが大切である。

情報の扱いに関する事項

〇考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することや情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことについて全国平均正答率を上回る結果となった。昨年同様、そのような授業が多くの学校で実施されていることの表れだと考える。引き続き、年間を通じて複数回、様々な思考ツールを使って情報の整理をすることについて意図的に指導することが大切である。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

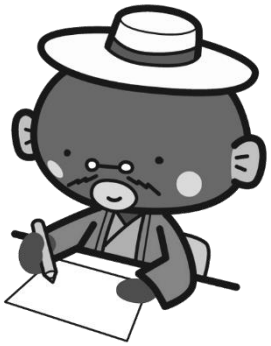
〇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることと、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することについて、全国平均正答率を上回る結果となった。日頃の協働的な学びの取り組みがこの結果に結びついているのではないかと推測する。自分の考えが相手に伝わるように、理由や事例を挙げたり、表現を工夫したりするような、「話す・聞く」学習に取り組ませていくことが重要である。

書くこと

〇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについて、全国平均正答率を上回っているものの、全体的な正答率が、４ 割に満たない問題もあった。学習の中で、引用して書くことで、相手に説得力や分かりやすく伝わることを実感させるような授業づくりを期待したい。全体的な筋道の通った文章作りの視点と引用などの部分的な表現の工夫の視点を自覚させながら文章を書く経験を積み上げることが大切である。

読むこと

〇目的に応じて、必要な情報を見付けることや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについて、どちらも全国平均正答率を上回っている。引き続き、目的に応じて、必要な情報を見つけたり、読んで理解したことを自分の考えと結びつけて表現したりするような授業づくりを大切にしたい。



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちさん